

吉見征樹 伊藤芳輝 箭島裕治

tabla

guitar

electric bass

2016 10月22日(土)

開場 19:30
開演 20:00~

(2ステージ 入替なし 途中入場可) (1drink=600円~)

MC 3,000 円 + 2drinks order

CAFE BEULMANS

野村 證券

お問合せ : info.cafebeulmans@gmail.com

TEL: 03-3484-0047

世田谷区成城6-16-5 カフェ成城2F

イベント日以外 営業時間

cafe time 15:00 -

bar time 19:00 -

火曜日・日曜日定休 イベント日以外

メールでのご予約の場合、必ず当日ご連絡がとれる電話番号をご記載ください。



吉見征樹

1984年 タブラを始め、1985年 幅広い音楽修行の為にニューヨークに渡る。1987年よりインドはムンバイにてタブラの大御所ウスタッド・アラ・ラカ・カーン氏と、その息子ウスタッド・ザキール・フセイン氏に師事。タブラの可能性を追求する為、インド古典音楽はもとより、あらゆるジャンルの音楽家・ダンサー・アーティストなどとの共演、ミュージカル、ファッションショー、演劇などの音楽を手掛け、またTV・ラジオのCM、テーマ曲、映画、CD等のスタジオ録音など数多く携わっており、国内外を問わず精力的にセッションを続けている。インプロヴィゼーションを得意とし、どのようなセッションにおいても自在に絡みつくその演奏は太鼓でありながらもメロディアスであり、タブラであらゆるジャンルとの共演をこなす貴重な存在である。

伊藤芳輝

東京都出身。10才よりクラシックギターを始める。フラメンコ、ボサノバ、ジャズ、クラシックなどあらゆるジャンルの音楽のガットギターのスタイルを研究。ソロライブ、セッション、コンサートサポート、レコーディングサポートなどを経て2000年平松加奈〈ヴァイオリン〉吉見征樹〈タブラ〉と自己のユニット「Spanish Connection / スペニッシュ・コネクション」を結成。2006年10月NHK総合テレビ土曜ドラマ「魂萌え！」(原作:桐野夏生)の音楽を全編書き下ろしで担当。番組は放送文化基金賞ドラマ番組賞、ATP賞を受賞。NHK教育テレビ50周年記念企画として2009年10月より放送の三谷幸喜脚色による連続人形活劇「新・三銃士」の劇中音楽を全編担当。2011年より朗読活劇「レチタ・カルダ」シリーズの舞台音楽を全編担当。2012年4月よりNHK「趣味の園芸」の音楽担当。スペニッシュ・コネクションの活動はもとより同じリーダーユニットである「Flamenco STRINGS / フラメンコ・ストリングス」参加ユニット「I・MA・TO / イマート」、ギターソロコンサート、様々なジャンルのミュージシャンとのセッションなど現在数多くのライブを行っている。スタジオワークでもアーティストへの楽曲提供、アレンジ、プロデュースなど多岐に渡り手がけている。

箭島裕治

1973年大阪府生まれ。4歳でピアノ、5歳でヴァイオリンを始め、9歳から10歳までの間に相愛大学附属音楽教室にて楽典の基礎を身につける。上京後、16歳で初めてエレクトリック・ベースを手にする。18歳で6弦ベースに転向。慶應義塾大学在学中よりスタジオワーク、ジャズ系のライブなどを中心にプロ活動を開始。2000年に林正樹 (pn.)、岩瀬立飛 (drs.)と共にジャズピアノトリオ「宴(うたげ)」を結成、2006年迄に3枚のアルバムをリリースしている。2011年にはヴォーカリスト三科かをりとのゴスペルユニット「AmaKha (アマーカ)」を始動、2013年に野呂一生 (gt.)、大高清美 (org.)ら超豪華ゲストを迎えた1stミニアルバム「Future Gold」をリリース。翌々2015年にも三科の圧倒的な歌唱力と西直樹 (pn.)、岩瀬立飛 (ds)らトップミュージシャン達のプレイをフィーチャーした2ndミニアルバム「Glorious Thing」をリリースしている。現在は野呂一生 (gt.)インスピリッツ、北川とわ (pn.) Trussonic、遠藤律子 (pn.) FRV!, やまもとときょうこ (vo.) ラテンジャズグループ、上野山英里 (pn.) トリオのレギュラーメンバーとして活動中。またセッションペーシストとして中西俊博 (vln.)、トミー・キャンベル (drs.)、エリック・ミヤシロ (trp.)、是方博邦 (gt.) 他多数のミュージシャンと共演している。